

2023年10月30日

九州電力株式会社

松浦発電所においてアンモニア混焼試験を実施します

— 石炭火力発電所における当社2例目となるアンモニア混焼試験 —

当社は、11月2日から松浦発電所2号機（石炭：100万kW）において、燃焼時にCO₂を排出しないカーボンフリー燃料であるアンモニアを用いた当社2例目^{※1}となる混焼試験を実施します。

当社は、2030年KPI（Key Performance Indicator：重要業績評価指標）に「水素1%・アンモニア20%の混焼に向けた検討・技術確立」を設定^{※2}しており、アンモニア混焼試験の実施は、このKPI達成に向けた取組みの一つとしています。

この混焼試験においては、燃焼状態や設備への影響を確認することとしており、安全・安定運転に万全を期したうえで実施します。

当社は、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、今後もカーボンフリー燃料の混焼技術確立に向けた取組みを積極的に進めてまいります。

※1 苓北発電所においてアンモニア混焼試験を実施済み（[2023年4月7日お知らせ済み](#)）

※2 2021年11月30日「九電グループカーボンニュートラルの実現に向けたアクションプラン」

[参 考]

○ 松浦発電所2号機の概要

- ・所在地 長崎県松浦市志佐町白浜免字開発2091番地1
- ・定格出力 100万kW（発電所総出力1，2号機計：170万kW）
- ・燃料 石炭
- ・営業運転開始 2019年12月20日

以 上



「快適で、そして環境にやさしい」
そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。
それが、私たち九電グループの思いです。